

マムシ咬傷

2025/7/14

公立浜坂病院 総合診療科

奥 湧志



Medicina 57巻8号 2020年7月発行



日本中毒情報センター

へビにかまれたなどの緊急連絡はコチラへ

医療関係者の方へ 咬傷の診断

毒蛇110番 0277-78-5193

診断に確信が持てない時や抗毒素投与のタイミング、アナフィラキシーの予防などについて、堺（主任研究員）まで遠慮なくご相談ください。夜間は研究所の留守番電話で緊急の連絡先を案内していますが、メッセージが流れるまで少し時間がかかりますので、切らずにお待ちください。

また、日本中毒情報センターにも登録されていますので、そちらでも緊急の連絡先を聞くことができます。

携帯では一応24時間対応しておりますが、夜間は咬傷など緊急の場合に限らせていただきます。ご了承ください。

背景

- マムシは春～秋、特に7～9月に多くみられる
- 水辺を好み、河川周辺や田畑で多く確認される
⇒**田舎では、これからマムシのシーズン！**
- 浜坂病院でも、年に数例
- 休日/夜間は医師1人・看護師1人（検査は呼び出し）での対応
- 時に重篤化するため、迅速な対応が必要
⇒**対応をマニュアル化したい。皆さまのご意見を伺いたいです！**

日本に生息するヘビ

- 毒を持つもの

マムシ

ヤマカガシ：少ない

ハブ：本州にはいない

- 毒を持たないもの

アオダイショウ、シマヘビなど

マムシ咬傷　―院外での対応―

- 日本の身近なヘビに咬まれても、即死はしない。
- 安静にしつつ、医療機関受診の手はずを整える。
- 決して、ヘビを捕まえようとしない！
- 可能なら、ヘビの写真を撮影

マムシ咬傷　ーヘビの鑑別ー

- マムシの特徴は下記の通り
- ただし、判別は難しい
- 夜間や草むらで咬まれると、ヘビかどうかもわからない
- 症状や検査データから鑑別！

丸い大きな
斑紋が並ぶ



三角形の頭部

マムシ咬傷 一問診一

- いつ咬まれたか
- どこで咬まれたか
- どんな模様？わからなくても大丈夫
- 腫脹と疼痛
- 出血傾向や複視（神経毒による）

マムシ咬傷 ー身体所見ー

- 創部の見た目
- 腫脹の程度
- 出血傾向

マムシ	ヤマカガシ
2つの牙痕が 1cm程度の間隔で並ぶ	ぼんやりとした 特徴のない引っ掻き傷 1,2mmの間隔で 2,3個傷がみられる

マムシ咬傷 ー身体所見ー

- ・ 症状からの鑑別

- ① 特別な症状なし ⇒ ヤマカガシおよび無毒ヘビ
- ② 創部を中心に**疼痛・腫脹** ⇒ マムシ
- ③ 疼痛や腫脹は軽度だが、急激な血圧低下や出血傾向 ⇒ マムシ
- ④ 創部や歯肉・鼻からの持続的な出血、疼痛や腫脹は乏しい
⇒ ヤマカガシ

マムシ咬傷 ー身体所見ー

- ・グレード分類

グレードⅠ	局所の腫脹
グレードⅡ	手関節 or 足関節に及ぶ腫脹
グレードⅢ	肘 or 膝関節に及ぶ腫脹
グレードⅣ	一肢全体に及ぶ腫脹
グレードⅤ	体幹に及ぶ腫脹、全身症状

マムシ咬傷　―検査―

- 採血と尿検査は、ヘビの鑑別にも有効
- 血算（特に血小板）、CK、BUN、Cre、電解質、凝固系など
- 腎障害、横紋筋融解、DICなど来す

マムシ	ヤマカガシ
CK↑ 血小板↓ 血尿・ミオグロビン尿	フィブリノゲン↓ ヘモグロビン尿

マムシ咬傷　ー治療ー

局所治療

- 流水で洗淨
- 緊縛、切開、吸引：最近では実施しない？

全身治療

- 細胞外液輸液
- 破傷風トキソイド
- 抗生剤（セフェム系やペニシリン系）
- セファランチン
- **抗毒素血清**

マムシ咬傷　ー治療・抗毒素血清ー

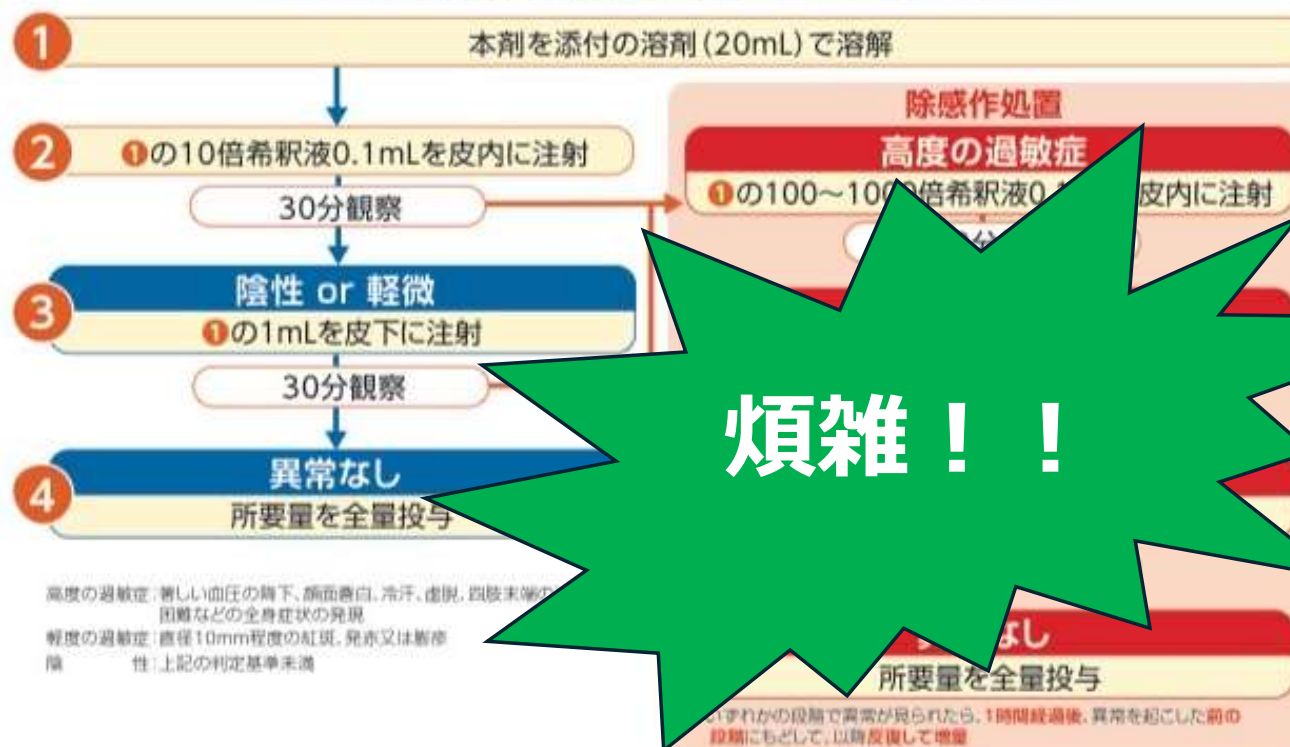
- グレードⅢ以上で適応
- 腫脹のピークは24時間後。受診時にグレードⅡなら多くは進行。
- アナフィラキシー、血清病の副作用あり
- 添付文書によると、投与前に皮内試験を実施。結果により除感作処置を行い、投与。
- アナフィラキシー予防に、アドレナリンやステロイド、H1受容体拮抗薬などの前投薬を実施する報告あり

マムシ咬傷　―治療・抗毒素血清―

投与前

乾燥まむしウマ抗毒素(以下、本剤)の使用における、**ウマ血清過敏症試験**についてフローを以下にまとめます。

ウマ血清過敏症試験(皮内試験法) 簡易フローチャート



煩雑！！

乾燥まむしウマ抗毒素注射用6000単位
「KMB」の使用上のご案内
Meiji Seika ファルマ株式会社

当院のフローチャート

抗毒素血清

患者

- ・ 駆血
- ・ 洗浄
- ・ 絞りだし

看護師

- ・ ルート確保
- ・ 薬剤準備

医師

- ・ オーダー
- ・ 投薬の説明

アレルギーテスト①
皮内投与30分観察

アレルギーテスト②
皮下投与30分観察

投与

抗毒素血清の
準備・テスト中

セファランチン

破傷風トキソイド

抗菌薬

採血・尿検査
患部マーキング

当院のフローチャート

アレルギーテストで、

- 陰性 or 軽微（直径10mm未満の紅斑・膨疹・発赤）なら、本投与
- 陽性なら、除感作処置としていたが、煩雑で時間がかかる
- 現状は、陽性ならアドレナリン0.5A筋注後に本投与の方針。

以上を、原則「全例血清投与・全例入院」で実施している。

※大抵の場合、グレードⅢまで進行するため

質問

- マムシ咬傷の対応はどうしていますか？
- 特に、抗毒素血清を投与するかの判断・アナフィラキシー予防の対策（アドレナリン投与など）はどうしていますか？
- 追記：破傷風トキソイドの在庫0となりました。マムシに限らず、各病院での今後の対応を教えてください。